



# 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社SOL Holdings  
 コード番号 6636 URL <http://www.sol-hd.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 赤尾 伸悟  
 (氏名) 中原 麗

TEL 03-3449-3939

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	741	111.2	△271	—	△393	—	△362	—
28年3月期第1四半期	666	195.4	△471	—	△435	—	△434	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △281百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △417百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△16.91	—
28年3月期第1四半期	△24.45	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,850	1,165	61.5
28年3月期	2,128	1,303	60.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,138百万円 28年3月期 1,295百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,815 ～5,100	36.6 ～82.6	277 ～488	—	148 ～475	—	63 ～450	—	3.36 ～24.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 平成29年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	21,839,712 株	28年3月期	21,114,212 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	167,538 株	28年3月期	167,538 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	21,411,518 株	28年3月期1Q	17,766,074 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）における世界経済は、中国の景気減速や英国のEU離脱問題等の影響から先行きに不透明感が生じています。

また、当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、円高などにより投資に対する姿勢が慎重化し、踊り場局面から脱せない状況にあります。また、4月中旬に発生した熊本地震による深刻な被害が足許の景気を下押しするなど、その先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの中核事業領域である半導体業界、電気機器業界においては、国内外の業界再編が一層進行し世界経済の影響と相まって不透明感があり、当社グループにおいても継続的な顧客の価格性能比率向上の要求に応えるため、依然厳しい状況にありました。

そのような経営環境の中で当社グループは、従来の中核事業領域であるテストソリューション事業（半導体事業）、レストラン・ウェディング事業及び新たな収益事業領域として位置付けるバイオ燃料事業を展開しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

テストソリューション事業におきましては、売上高3億84百万円（前年同期比21.9%増）となりました。国内半導体業界では安定的な需要を維持する自動車産業と来るべきIoT産業の胎動も始まる中、技術者の不足感と高効率要求に支えられ、当社グループの開発業務受託及びプラットフォームを活かした製品は、受注及び販売共に順調に推移いたしました。損益につきましては、様々な原価低減策を講じた結果、セグメント利益30百万円（前年同期比74.9%増）となりました。

レストラン・ウェディング事業におきましては、売上高1億98百万円（前年同期比43.4%減）となりました。一部の不採算店舗につきましては賃借人との定期借家契約の満了と同時に平成28年1月に横浜店、平成28年5月に恵比寿店をそれぞれ閉店しております。これにより、現在はイタリアンレストラン5店舗、イタリアンバル1店舗、ダイエツトレストラン1店舗、結婚式場1店舗、合計8店舗を運営しております。なお、不採算店舗の閉店による支出過多の状態は改善の兆しが見られましたが、仕入れ及び人材募集に係る費用が増加しているため、赤字幅縮小にはいたっておりません。各店舗につきましては、オフィス街、繁華街、複合施設内等の出店地にあわせて、提供するメニュー、食材、価格等の差別化を実施しております。また、結婚披露宴の成約件数につきましては、平成28年6月末時点で53件（昨年比57件に対し93.0%）であり、今期の成約目標80件に対し66.3%の達成率となっております。また、結婚披露宴が予定されていない週末には、メインダイニングを企業説明会、テレビドラマ撮影、コマーシャル撮影等に提供し、稼働率の向上を図っております。レストラン・ウェディング事業におけるセグメント損失につきましては41百万円（前第1四半期連結累計期間は営業損失31百万円）となりました。

バイオ燃料事業におきましては、メキシコにおいてスーパーソルガム種子の売上が計上されたことから売上高1億58百万円（前年同期は0百万円）となりました。当該事業においては、メキシコをはじめベトナム及びタイにおいて各国現地法人を通じてスーパーソルガム種子販売を推進しております。東南アジア諸国では、急激な経済発展、人口増加により深刻なエネルギー問題・食料問題を招いており、当社が取り扱うエネルギー作物であるスーパーソルガムは、その成長の早さや収穫量の多さから、当該問題を解決できる可能性がある植物として期待が寄せられております。なお、タイ、ベトナムにおける種子販売等、その他の国々においても、各顧客との交渉を進めております。さらに、種子販売に比べより利益率の高い、家畜用飼料（サイレージ）、燃料用ペレット事業等について、各国パートナー企業との協業による商用化を開始すべく継続して準備を進めております。これらのことから、バイオ燃料事業におけるセグメント損失は、1億49百万円（前第1四半期連結累計期間は営業損失3億38百万円）となりました。

以上の結果、売上高は7億41百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

損益につきましては、テストソリューション事業において、様々な原価低減に取り組むことにより業績が改善したものの、バイオ燃料事業の立ち上げに係る営業費用が影響したことから、営業損失2億71百万円（前年同四半期は営業損失4億71百万円）、経常損失3億93百万円（前年同四半期は経常損失4億35百万円）及び親会社株主に帰属する四半期純損失3億62百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億34百万円）を計上いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は18億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億78百万円減少いたしました。流動資産は11億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億11百万円減少いたしました。主な要因は、商品及び製品の減少1億91百万円によるものであります。固定資産は6億92百万円となり前連結会計年度末に比べ67百万円減少いたしました。そのうち、有形固定資産は前連結会計年度末とほぼ同額の98百万円となりました。また、無形固定資産は3億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少いたしました。主な要因は、のれんの償却による減少31百万円であります。さらに、投資その他の資産は2億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。主な要因は、敷金及び保証金の減少23百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は6億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億39百万円減少いたしました。流動負債は5億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9百万円減少いたしました。主な要因は、未払金の減少27百万円と買掛金の減少16百万円であります。固定負債は1億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少いたしました。主な要因は繰延税金負債の減少29百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は11億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億38百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失3億62百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の60.8%から61.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきまして、テストソリューション事業は堅調に推移しており、当第1四半期連結累計期間の売上につきましては当初予想値である3億74百万円を10百万円上振れし、3億84百万円の計上となりました。

レストラン・ウェディング事業につきましては、不採算店舗の閉店によるレストラン部門の赤字幅圧縮を図り、また、ウェディング部門につきましては、週末に集中します結婚披露宴を効率よく成約するため、今期より自社募集に加え、複数社の紹介会社を活用することで成約件数を確保しております。さらに、結婚披露宴の開催されない週末につきましては、企業説明会、展示会、ドラマ撮影、コマーシャル撮影等にメインダイニングを提供し、稼働率の向上を図っております。なお、施設老朽化による補修及び改修によるメンテナンスは営業に支障がないよう全店舗完了しており、結婚披露宴に関しましても、年間成約件数80件を目指してまいります。

バイオ燃料事業の売上につきましては、当社が平成28年4月20日に公表しました「中期経営計画策定のお知らせ」

(注1)にてお知らせのとおり、メキシコ、タイ、ベトナムにおいて現地法人を通じ営業活動を実施しており、平成29年3月期第2四半期以降も引き続き中期経営計画の達成を目指し取り組んでまいります。また、各国共通事項として当社が予定した時期及び予定した販売先との契約締結が行えない場合、その他、天候不順等による種子の不作の場合、期待した程の収穫量が確保できない場合、バイオ燃料の需要や市場規模が想定したとおりの拡大をしない場合、販売網の整備状況等により当社の想定したとおり拡販しえない場合、現時点においては認識していないものの、他社の新規参入による競争激化によりバイオ燃料としての価格優位性が低下した場合等によりバイオ燃料事業の売上計上が予定どおり計上できないことも予想され、不確定要素もありますが、現時点における業績予想の修正は行わず引き続きレンジ形式での予想とさせていただきます。

(注1)平成29年3月期における各事業の展開につきましては、当社が平成28年4月20日に公表しました「中期経営計画策定のお知らせ」をご参照願います。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したSUPER Sorghum Mexico, S.A. DE C.V.を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで過去7期連続（単体は7期連続）して営業損失を計上しております。これにより継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在していると認識しております。このような状況を解消するために当社グループは、バイオ燃料事業においては、当第1四半期連結累計期間におけるメキシコでのスーパーソルガム種子販売70.76tにより1億58百万円の売上を計上しました。また、平成28年6月にはPROFON S.Cより200t、さらに平成28年7月にはメキシコ合衆国全国畜産業者連合会（UGRJ）から平成28年2月29日に締結しました「スーパーソルガム種子の生産と販売に関する基本合意（MOU）」に基づく発注分としまして200tの購入申込みをそれぞれ受けました。今後も中期経営計画達成に向けさらなる受注獲得を目指してまいります。タイにおいては、国立カセサート大学による試験栽培のレポート提出を待ち、引続きSORG JT社とのスーパーソルガム種子の受注に関する契約に向けて協議を進め売上計上に繋げてまいります。レストラン・ウエディング事業におきましては、一部の不採算店舗閉店により赤字幅の圧縮を図り、人材につきましても適材適所に配置転換の実施による業務の効率化、メニューの見直しによる食材の仕入量と仕入先の選別を行うことで仕入れコスト削減に努めます。これらの収益構造の改善によって年間70百万円の赤字解消を見込んでおります。今後も上記の着実な実行を図ることにより、安定的に営業利益及び営業キャッシュ・フローを獲得できる体制の構築に取り組んでまいります。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	236,315	102,087
受取手形及び売掛金	438,055	560,452
商品及び製品	382,828	191,101
仕掛品	18,352	30,459
原材料	7,034	5,687
前払費用	48,929	34,850
前渡金	3,356	10,386
貸倒引当金	—	△20,044
その他	233,969	242,804
流動資産合計	1,368,840	1,157,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	97,557	102,050
減価償却累計額	△36,450	△38,237
建物及び構築物（純額）	61,107	63,813
機械装置及び運搬具	26,194	26,174
減価償却累計額	△11,311	△12,658
機械装置及び運搬具（純額）	14,883	13,516
工具、器具及び備品	284,192	283,030
減価償却累計額	△261,384	△261,633
工具、器具及び備品（純額）	22,808	21,396
有形固定資産合計	98,799	98,726
無形固定資産		
ソフトウェア	4,428	4,219
のれん	311,262	280,135
営業権	80,944	65,000
その他	690	1,317
無形固定資産合計	397,325	350,672
投資その他の資産		
投資有価証券	70,205	75,241
敷金及び保証金	183,860	160,186
破産更生債権等	110,795	110,795
貸倒引当金	△110,795	△110,795
その他	9,770	7,897
投資その他の資産合計	263,835	243,325
固定資産合計	759,960	692,723
資産合計	2,128,800	1,850,509
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,152	27,968
短期借入金	200,000	200,000
未払金	245,375	217,747
未払法人税等	8,976	2,821
賞与引当金	19,523	691
その他	142,930	102,234
流動負債合計	660,959	551,463



固定負債		
繰延税金負債	40,918	11,915
資産除去債務	49,827	49,944
その他	73,285	71,979
固定負債合計	164,030	133,839
負債合計	824,989	685,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,706,626	2,794,296
資本剰余金	3,328,440	3,416,109
利益剰余金	△4,680,186	△5,092,315
自己株式	△83,004	△83,004
株主資本合計	1,271,876	1,035,086
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	23,272	103,536
その他の包括利益累計額合計	23,272	103,536
新株予約権	8,662	26,583
純資産合計	1,303,810	1,165,207
負債純資産合計	2,128,800	1,850,509

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	666,803	741,468
売上原価	322,055	495,482
売上総利益	344,747	245,985
販売費及び一般管理費	816,334	517,314
営業損失(△)	△471,586	△271,328
営業外収益		
受取利息	155	297
受取手数料	927	65
為替差益	36,411	—
雑収入	593	3,320
補助金収入	—	2,410
営業外収益合計	38,088	6,093
営業外費用		
支払利息	1,691	1,327
為替差損	—	125,588
その他	180	1,454
営業外費用合計	1,871	128,370
経常損失(△)	△435,370	△393,604
特別利益		
新株予約権戻入益	2,112	5,026
その他	106	—
特別利益合計	2,218	5,026
特別損失		
固定資産除却損	—	516
たな卸資産廃棄損	1,244	—
特別損失合計	1,244	516
税金等調整前四半期純損失(△)	△434,396	△389,095
法人税、住民税及び事業税	3,857	2,033
法人税等調整額	△3,711	△29,003
法人税等合計	146	△26,969
四半期純損失(△)	△434,542	△362,125
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△434,542	△362,125

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△434,542	△362,125
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	16,630	80,264
その他の包括利益合計	16,630	80,264
四半期包括利益	△417,912	△281,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△417,912	△281,861
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

当社グループは、前連結会計年度まで過去7期連続(単体は7期連続)して営業損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても、営業損失271,328千円を計上しております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は当該状況を解消すべく、バイオ燃料事業においては、メキシコにおいて当第1四半期連結累計期間において70.76tを納品し、158,335千円の売上計上を行いました。また、現在メキシコにおきましては40tの納品準備、さらに平成28年6月にはPROFON.S.Cから200t、メキシコ合衆国全国畜産業者連合会(UGRJ)から平成28年2月29日に締結しましたMOUに基づく発注分としまして200tの購入申込みをそれぞれ受けております。また、メキシコ合衆国農畜水産農村開発食糧省(SAGAPRA)よりメキシコ国内においてスーパーソルガムの栽培を推奨されることで、さらなる受注獲得を目指してまいります。タイにつきましてはタイ農業省から年間を通じた収量を確認したいとの要望を受け、昨年6月からタイ国内において実施しました複数品種による性能比較試験(試験栽培)が平成28年6月に完了し、新たにタイ農業省指定の国立カセサート大学が加わり試験栽培の結果を受け、レポート作成を依頼し完了を待つ状態です。当社としましては、タイ国立カセサート大学、販売先であるSORG JTとの間で引き続きスーパーソルガム種子販売に関する契約に向けて協議を進め売上計上に繋げてまいります。レストラン・ウェディング事業におきましては、一部の不採算店舗閉店により赤字幅の圧縮を図り、人材につきましても適材適所に配置転換の実施による業務の効率化、メニューの見直しによる食材の仕入量と仕入先の選別を行うことで仕入れコスト削減に努めます。これらの収益構造の改善によって年間70,000千円の赤字解消を見込んでおります。今後も上記の着実な実行を図ることにより、安定的に営業利益及び営業キャッシュ・フローを獲得できる体制の構築に取り組んでまいります。

しかしながら、これらの施策については、受注動向や経済環境によって影響を受ける可能性があるため、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

当社が発行いたしました新株予約権の行使により、当第1四半期連結累計期間において資本金が87,669千円、資本準備金が87,669千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,794,296千円、資本剰余金が3,416,109千円となっております。

(重要な後発事象)

1. 第三者割当による新株式及び第8回新株予約権の発行

当社は、平成28年7月13日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当の方法により新株式及び第8回新株予約権を発行することについて決議し、平成28年7月29日に発行価額の総額(225,612千円)の払込が完了いたしました。

本新株式発行の概要

(1)	発行期日	平成28年7月29日
(2)	当該発行による株式の種類及び数	当社普通株式 930,232株
(3)	発行価額	1株につき215円
(4)	発行価額の総額	199,999,880円(差引手取概算額 199,999,880円)
(5)	資本組入額	1株につき107.5円
(6)	資本組入額の総額	99,999,940円
(7)	募集または割当方法	第三者割当の方法により、以下のとおり割当てる。 佐藤 満 (232,558株) 石田 智子 (232,558株) 高橋 修 (232,558株) 株式会社オルフェウス (232,558株)
(8)	資金使途	①株式会社SOL Holdings 運転資金 ②株式会社SOL ASIA HOLDINGS 運転資金 ③借入金返済

第8回新株予約権発行の概要

(1)	発行期日	平成28年7月29日
(2)	発行総数	67,226個(新株予約権1個当たり100株)
(3)	当該発行による潜在株式の種類及び数	当社普通株式 6,722,600株
(4)	発行価額の総額	25,613,106円(新株予約権1個につき381円)
(5)	資金調達の総額	1,625,591,906円 (内訳) 新株予約権発行による調達額: 25,613,106円 新株予約権行使による調達額: 1,599,978,800円
(6)	行使価額	1株当たり238円
(7)	行使期間	平成28年7月29日から平成30年7月28日
(8)	割当先及び割当個数	White Knight Investment Limited (46,026個) 阿部 信雄 (6,200個) 佐藤 満 (4,000個) 石田 智子 (7,500個) 高橋 修 (3,500個)
(9)	資金使途	①バイオ燃料事業に関する運転資金 ②レストラン・ウェディング事業における精算金の支払 ③株式会社SOL Holdings 運転資金 ④株式会社SOL ASIA HOLDINGS 運転資金 ⑤借入金返済

## 2. 第7回新株予約権の取得及び消却

当社は、平成28年7月13日開催の取締役会において、以下のとおり、第7回新株予約権をすべて消却することを決議し、平成28年7月29日に取得及び消却を完了しております。

## 取得及び消却する新株予約権の内容

(1)	発行した新株予約権の個数	59,552個
(2)	新株予約権の割当日	平成28年4月14日
(3)	新株予約権の払込金額	総額24,892,736円(1個418円)
(4)	新株予約権の目的である株式の種類と数	普通株式5,955,200株 (新株予約権1個につき100株)
(5)	新株予約権の行使に際して支出される財産の価額	1株につき335円
(6)	新株予約権の行使期間	平成28年4月14日から平成30年4月13日
(7)	新株予約権の残存数	59,552個
(8)	新株予約権の取得日及び消却日	平成28年7月29日